

緑と緑化

緑の基礎知識と緑化の技術

山田和司 著

定価 3,300 円 (本体 3,000 円 + 税 10%)

ISBN978-4-931085-59-6 C2051 ¥3000E

2024 年 1 月発行 B5 判 カラー 250 ページ



< 誌面のイメージ >



本書は、著者が「緑化」の啓発・普及に従事する中で植物の役割やその大切さを痛感し、自身はもちろんですが、緑に関わる仲間や緑を学ぶ学生諸氏に緑の心・緑化の考え方を再認識し、「緑」の語り手になっていただきたいという願望を形にするために、既存の知見を取りまとめたものです。

この観点から、本書は主として緑化を生業とする方々や緑化を学ぶ学生諸氏を第一の読者と想定して書いています。読者の方々には、本書の知見を確認・吸収して緑の語り手を目指すとともに、緑の専門家としての基盤を確実なものとしていただきたいと思っています。

また、本書は建築や土木の方々や一般の人たちも読者の対象と考え、写真や図を多く使い、できるだけ平易に書き起こしたつもりです。これらの読者の方々には、緑の大切さや都市における緑の役割を理解していただき、緑のファンになってもらいたいと思っています。

本書の構成

- 第1章** 緑の基礎知識として、植物の起源や分類・構造・生活史・特徴そしてその生育環境等について解説しています。
- 第2章** 緑化の定義・構成とその史的変遷を整理するとともに、緑の必要性やその望ましいあり方を解説しています。
- 第3章** 緑化の実践技術として、修景緑化を取り上げてそのデザイン要素としての植物の特性やそのデザイン手法の解説とともに、修景緑化による都市空間の景観形成の展開に係る作法について解説しています。
- 第4章** 緑の管理として、その基本的な考え方を整理するとともに、管理計画・管理作業・管理調査に係る留意事項について解説しています。




一般財団法人 日本緑化センター発行の書籍は
WEB BookShop からお求めください。




視聴無料!! 要GOA会員登録 登録無料!! **進士 五十八 アーカイブ**

GOA 学長 進士五十八先生の強いご意向により、次世代のみどりに関わる幅広い技術者に向けて、先生からお預かりした過去の映像を**まもなく公開!**



とは
緑化技術者の技術の向上、新たな緑化技術者の育成、さらに一般の方々への緑化思想や技術の普及・啓発を図るため、緑化関連技術等に関する講座をオンラインで配信するものです。



●の数値は造園CPDおよび樹木医CPD単位です。

<p>みどりの時代を拓く公園緑地計画のこれまでとこれから</p> <p>養茂 寿太郎 1.5</p> <p>都市計画における公園緑地の意義と今後の課題に触れ、公園緑地への関心、緑の基本計画の展開を述べます。</p>	<p>地景の育りを出発点に伝えるために。歴史・文化遺産を活かしたまちづくり</p> <p>舟引 敏明 1.8</p> <p>文化財保護法などの法制度の現状と課題を、欧州をはじめとする先進事例の紹介を交えながら考えます。</p>	<p>日本の近代庭園 その様式と空間</p> <p>栗野 隆 1.8</p> <p>日本近代の庭園の様式や空間にはどのような特徴があったのかを、明治～昭和初期の庭園について解説します。</p>	<p>「庭園一如」すくなく使える「日本庭園のみかた」と「新しい庭園の行動」</p> <p>藤井 哲郎 1.6</p> <p>庭園一如を掘り下げる着眼点、伝統的な日本庭園に共通するポイント、日本庭園の重要な見方について紹介します。</p>	<p>ランドスケープと観光</p> <p>小森 良平 1.5</p> <p>観光からランドスケープを考え、あるいはランドスケープから観光を考える。概論的な話をします。</p>	<p>自然風景地の体験と緑地等の風景管理</p> <p>山本清龍 1.5</p> <p>自然公園法などの自然風景地の保護制度を紹介し、風景と利用体験をまもる仕組み、取り組みについて紹介します。</p>
<p>大樹の継承と観光まちづくり</p> <p>押田 佳子 1.1</p> <p>現代で継承される御神木を中心とする大樹の継承と観光資源性について、4つの視点より紹介します。</p>	<p>緑道 都市時代の多機能グリーンインフラ</p> <p>自置 佳之 1.5</p> <p>グリーンインフラとしての緑道の現状と課題を、欧州をはじめとする先進事例の紹介を交えながら考えます。</p>	<p>集合住宅地に於ける既存樹木の保全の意義とその手法</p> <p>小本 曾 裕 1.8</p> <p>集合住宅の建物配置計画等の段階での既存樹木の保存・移植・リサイクルの活用手法の考え方を紹介します。</p>	<p>世界に広がる都市型農園の歴史と社会的意義</p> <p>新泉 奈穂美 1.5</p> <p>19世紀から現代まで、都市型農園がどのような役割を担ってきた、これからの都市にどう役立つのかを解説します。</p>	<p>国立公園の歴史と今日的課題</p> <p>水内 佑輔 1.6</p> <p>「国立公園の父」田村剛の思想や、当時の社会状況から日本の国立公園成立史を解説し、国立公園の多面的役割を考えます。</p>	<p>樹木葬墓地の近年の動向と可能性</p> <p>上田 裕文 1.1</p> <p>樹木葬墓地の近年の動向と課題、そして今後の可能性について、事例を紹介しながら論じます。</p>
<p>みんなで楽しむお花をさがし隊</p> <p>竹谷 仁志 1.5</p> <p>①花は街のコミュニケーションツール ②日本の夏も花の季節に!! ③江戸から伝わる園芸の危機 ④みんなと一緒に花の楽しい!!</p>	<p>空情報技術による造園資材の視覚化</p> <p>國井 洋一 1.8</p> <p>空間情報技術の手法について論じるとともに、具体的な事例として庭園や公園などにおける応用を紹介いたします。</p>	<p>都市緑地での持続的な物質循環系創出に向けて</p> <p>高橋 輝昌 1.5</p> <p>剪定木をさらに運技術や効果、緑地の物質循環特性に及ぼす都市化により増加する剪定木の影響について紹介します。</p>	<p>樹木診断の実際 目のつけどころと撮影のノウハウ</p> <p>多田 亨 1.5</p> <p>診断の手順と目のつけどころについて、小道具の使い方にも触れるなど経験の浅い方にも役立つように解説します。</p>	<p>身近に発生する庭木の病気と害虫の対策</p> <p>草間 祐輔 1.5</p> <p>庭木などに発生する被害症状を紹介し、病気の発生や名前を知らない人でも簡単に原因を確かめられるよう解説します。</p>	<p>森林における菌類の役割 一環が壊れれば森林は消滅する</p> <p>金子 繁 1.7</p> <p>菌類の種類、木材腐朽菌類・落葉分解菌類、寄生菌類、内生菌類などの、具体的な森での役割について解説します。</p>
<p>日本の海岸林 (後編)</p> <p>吉崎 真司 1.8</p> <p>海岸防風林の将来をどのように考えれば良いのか、地域に根差した樹林に育てるための基本的な考え方を提示します。</p>	<p>森林の養分循環と適地適木</p> <p>千木 容 1.1</p> <p>森林土壌について、分類と特徴、診断調査方法、養分循環、診断ポイントと対策など、さまざまな観点から解説します。</p>	<p>建築設計における緑の取り扱い</p> <p>山崎 誠子 1.5</p> <p>建物の周囲に緑を取り入れる樹木の選び方、配置の仕方、配置の注意点、造園工事の時期や注意点を概説します。</p>	<p>初めての植物調査</p> <p>石山 麻子 1.5</p> <p>植物の基礎を学んだあとに、植物相調査と植生調査について、実際に調査をしている様子を示して講座を進めます。</p>	<p>造園緑化の植栽基盤(土壌)について基礎と診断を学ぶ</p> <p>牧 隆 1.8</p> <p>造園緑化にとって最適な植栽基盤とはどのようなものかを説明し、それら立調査する方法や調査結果の判定を学びます。</p>	<p>樹木の調査・診断</p> <p>永石 恵道 1.5</p> <p>樹木が抱える課題をどのように評価、診断しているのか、そしてどのような対策がなされるのかを実際の動画でも解説します。</p>
<p>樹木医×起業</p> <p>森 広志 戸岡 日出美 1.8</p> <p>樹木医の会社として起業した場合のリアルな数字や現状を共有しながら、新たな仕事に挑戦したい方々に役立ちます。</p>	<p>樹木医起業 一いつたてるとは</p> <p>深澤 尚尚 1.1</p> <p>樹木医業者として大事なこと、注意しなければならないこと、そして安定した経営を目指すための工夫などについて解説します。</p>	<p>課題に答える文章の書き方 樹木医試験の論文試験を例にして</p> <p>富樫 一也 1.9</p> <p>樹木医試験をはじめ、各種資格試験の論文問題に対する解答技術を高めたい方にとって大変参考になります。</p>	<p>事例に学ぶ公園等の樹木管理</p> <p>小林 明 1.7</p> <p>これまでの管理事例を管理者や事業者、市民との関わりなどから紹介し、今後の適切な樹木管理のあり方を考えます。</p>	<p>精密機器を使った樹木診断調査 (ドクターワーク)</p> <p>関 敏之 1.0</p> <p>樹木内部診断機械の一つとして音響波による内部解析の機械について、事例とともに解説します。</p>	<p>変動環境下での森林樹木の生理生態応答と管理</p> <p>小池 孝貞 1.9</p> <p>環境制御試験による知見を交え、変動環境下での森林樹木の応答と今後の管理について紹介します。</p>

桜の名所地のための基礎知識
 ～サクラの生育特性と観賞価値～

和田 博幸 **1.7**

桜の管理に関わる方より深く知るといわれる方、名所地をつくるお考えの方などにお薦めの講座です。

イチ押し

緑のはなし
 -緑化の軌跡と都市における修景植栽-

山田 和司



緑のはなし - 緑化の軌跡と都市における修景植栽 -

講 師 **Kazushi Yamada 山田 和司** (一財)日本緑化センター 参与、(一財)日本造園修景協会 副会長、工学博士、技術士(建設部門)、筑波大学非常勤講師、和歌山大学非常勤講師、東京農業大学客員教授

「私は、生き生きとした植物や、潤いのある緑の風景を見ると、それだけで心身が安らくなります。それは、植物が人間の生命を支えるために不可欠な存在であることを示す本能的な反応と考えられるからです。このかけがえのない存在である緑について、私たちはどの程度知っているのでしょうか」

山田和司が長年の経験知をもとに語る講座「緑のはなし」では、「緑(植物)とは」、「緑化の技術」、「修景緑化による都市景観の形成」、「緑の管理」について、基本的な知見や、緑化の実践において参考となる事柄を解説しています。

緑に関わる仕事や学びを新たにはじめる方、すでに緑化を生業としている方はもちろんのこと、業務で部分的でも「緑化」に関わる建築や土木関係の方々にも基礎的な知見を広く学べますのでお勧めします。